



ゴブリンの孕み袋

～さらわれたエルフの少女の飼育記録～

成人向けCG集
基本CG 11枚
本編253枚



リリィ

132cm

67/53/72 (Aカップ)

両親のことが大好きなエルフの少女。

両親の結婚記念日にプレゼントする花を摘みに一人でエルフの集落の外へ。そしてゴブリンにさらわれてしまう。

性欲旺盛なゴブリンたちのおち●ち●の相手をすることになる。

性知識はまったくない。セックスがどういう行為なのか知らないまま、おま●こにおち●ち●を挿入される。



あつ、見つけた！

メ

メ

ふふふ…綺麗なお花

お母さんとお父さん
喜んでくれるかな？



エルフの少女、リリイ
今日は彼女の両親の結婚記念日。

両親が好きな花をプレゼントしたくて
リリイはエルフの集落の外に
花を摘みに来ていた。

集落の外に一人で
出ちゃダメって
大人に言われてるけど…

お花をプレゼントしたら
怒らないでくれるよね！

いっぱい摘んで帰る！

しゃがんで両親が好きな花に
小さな手を伸ばして摘んでいく。

お母さんたちと
何度も外にお出掛けしてるけど
何もなかったから…

今日もきつと大丈夫だよね

大人たちが彼女に集落の外に
出ではいけないと言っている
主な理由は魔物の存在だ。

魔物は恐ろしい力を持った生物で
人間を殺し、食らう
人類の敵ともいえる存在。

戦う力を持つていない子供が
遭遇すれば逃げることはできなから。



ただ、この辺りは集落の大人たちが
定期的に魔物を討伐していて、
滅多に現れることはない。

だからこそリリィは無事な
ここまで来れたのだ。

だが、魔物の中には知性があり、討伐から逃れているものもある。

あっ

このお花すごく大きいっ！

メ

いっちのも！

そしてリリィは花を摘むことに夢中で背後から近付らされてから気づくことができなかった。

…グゲッ

えっ？

声が聞こえた気がして、
リリイは振り返ろうとした。

だが近付いてきたソレの手が
彼女の口に布を押しつけてくる。

その布の発する匂いを感じた直後、
強い眠気にリリイは襲われてしまう。

だ、れ…？

なんで、急に眠く…

リリイは眠気に抗えず、
そのまま眠つてしまう。

それから一時間以上リリイは眠り続け、
目が覚めた時には別の場所にいた。

え
ううん…

はっ
あれ？
ここは？

わたし…森にいたのに…

草や花が生えた温かな地面ではなく、
冷たい石の地面のうえ薄暗い…
リリイが目を覚ました場所は洞窟だった。



そして自分をここに連れてきた
その存在をリリイは目にする。

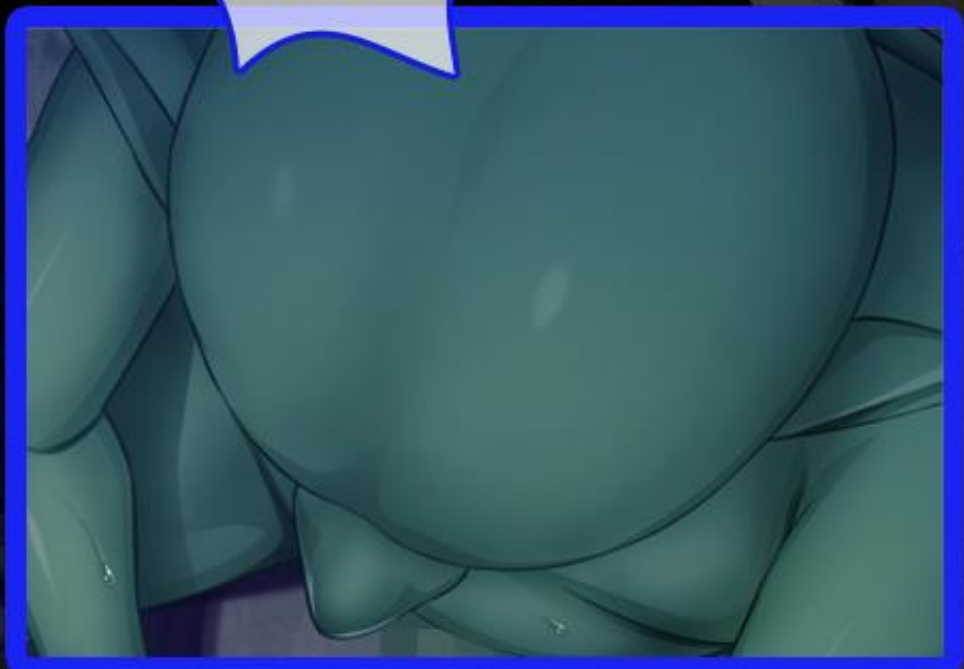
グギヤ

え？

きょ

な、何？
誰？

グギヤギヤッ！



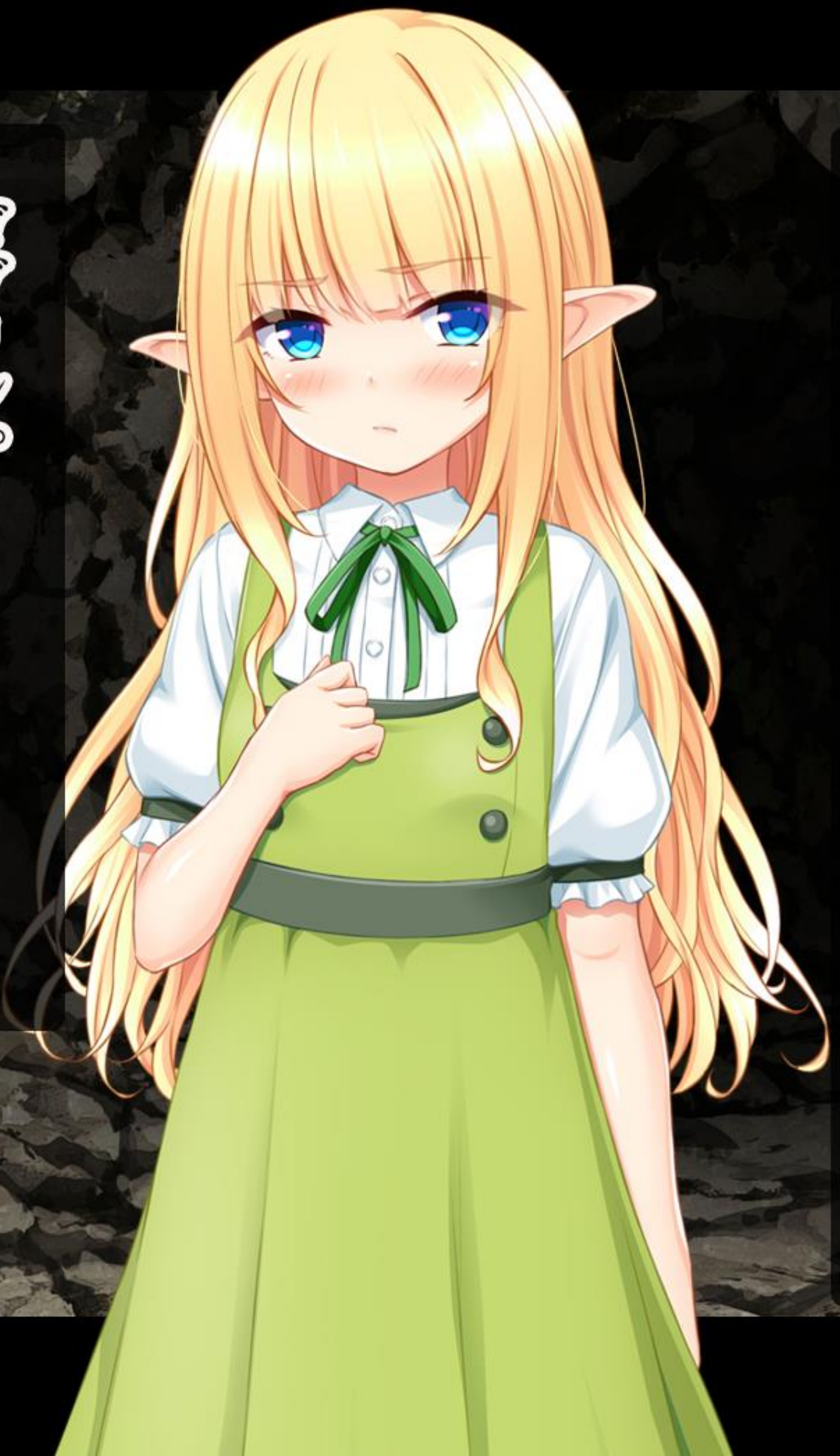
リリイより少し背の高さ
全身緑色の人型の魔物、ゴブリン。

彼女の視界には
十四以上のゴブリンがいた。

ここはゴブリンの住処の洞窟
リリイはゴブリンによって
さらわれてしまったのだ。

もしかして…ゴブリン？

ゴブリンという名前と姿は大人たちから
リリイは教わっていて知っていたが、
どんな魔物なのか詳しくは知らなかった。



ゴブリン。
他の魔物と比べて貧弱だが、
頭が良く、武器や毒を扱う。

自分たちで調合した睡眠薬を使って
単独行動している人間を
誰にも気付かれずにさらうこともある。

さらう理由、特に女性をさらう理由は
基本的に二つ…繁殖、交尾のためだ。

グギイ…

ひっ!

や、やだあ…
来ないでえ



ゴブリンに雌はいるら
そのためゴブリンは
他種族の雌と交尾をする。

また、ゴブリンの精子は特殊で
どのような種族でも孕ませることが可能。

そのうえ性欲旺盛であるため、
繁殖を目的としない性行為を頻繁に行う。

う、ううう…
怖いよ…

お母さん…
お父さん…

泣いてるリリイに対して
ゴブリンは特に罪悪感を覚えることはなから
それどころか興奮し、勃起していった。



すると二匹のゴブリンが動く。
そのゴブリンは他のゴブリンより
身体が大きく頭に二本の角が生えてる。

ゴブリンの中でも上位の個体で
あることがうかがえられる。

ガチガチに勃起したオポを
震わせながらリリィに近付らして。

な、何？
わたし、何されるの……？



~~~~~  
おうちに帰りたいよお……

お母さん、お父さん  
助けて……っ！



恐怖から身動きできなひりりイイは  
二本角のゴブリンに頭を掴まれる。

へっへっ！

そして勃起したチ○ポが  
突きつけられる。



こゝこれって…  
おち●ち●だよね…

お父さんにも  
生えてたけど…  
全然違う…

たーらあ

むわあ

大きいし…  
硬そうだし…  
それに先っちょよから  
何か出てる…おしっこ？

なんだか  
不思議な匂いがして  
身体が熱く…



ゴブリンの体液…  
特に唾液、精液、カウパーには  
異性に対して催淫効果がある。

まだオナニーやセックスを  
知らない幼いリリイは  
その身体の熱は性欲の昂りによる  
ものとはわからない。

ギヒッ

そしてゴブリンは半開きになっている  
彼女の回に向かって腰を振るのだった。



んんっ!?

しゃあがっ!!





かちゅぽっ

回内に入り込んできた  
ゴブリンのチ○ポは  
とても清潔とは言えない。

かちゅぽっ

催淫効果のあるカウパーの匂いを  
塗り潰すほどの悪臭とえぐみが  
リリイの回の中に広がった。

口の中に入ってきた!?

おち●ち●…  
生臭くてしよっぱくて…  
気持ち悪い…

ふん…

出してよお…



リリイはそんなゴブリンのチ○ポを  
驚いて思わず歯を立てる。

するとゴブリンがそれを叱るように  
リリイの頭を掴む手に力を込めた。

魔物の中で最弱とはらいつても  
少女の頭を潰すぐらいの造作もない。



痛いっ！

頭…潰れちゃう…っ

ぐちゃぽん

グゲゲッ

ニタニタ

ぐちゃぽん  
ぐちゃぽん

リリイが歯を立てなくなるとゴブリンは「それでいい」と言っているかのように手に込めていた力を緩める。



おち●ち●を  
噛んだから怒ったの…？

気持ち悪い…でも…  
また痛いことされるのは嫌だ…

大人しくしてたら…  
おうちに帰してくれるかな？

か  
ぢゅふっ  
か  
ぢゅふっ

か  
ぢゅぽっ  
か  
ぢゅぽっ

そんな淡い期待から  
リリイはひとまず耐えることとした。



リリイが大人しくなるとゴブリンは腰を前後に振ってリリイの回内を犯す。



喉奥を突かれるたびにリリイは苦しげな声を漏らすけど痛い思いをしたくない一心で耐える。



くる、しゅしゅ...

ぬる

ぬる

ふにふにじんんなじよめるの...?

おち●ち●大きくて  
息がしにくい...

お願い...早く...  
早く終わってえ...

グググ

グググ

しゅしゅ

しゅしゅ



リリイの回内を堪能するゴブリン。

か  
ちゅ／＼  
が／＼

ぬ  
も  
い  
ん

ぬ  
も  
い  
ん

し  
ゅ  
ん  
／＼  
／＼  
／＼  
／＼

し  
ゅ  
ん  
／＼  
／＼  
／＼  
／＼

狭く、温かなリリイの回が  
もたらししてくれる快感に  
ゴブリンは腰を一段と強く  
振り始める。



ゴブリンのチ○ポから催淫効果のある  
カウパーが大量に分泌されてびしょ。

うぐう……くる、しい……

でも……なんだか……  
生臭い匂いとか  
気にならなくなってきた……

ズルズルッ

ぬるぬる

ぬるぬる

ズルズルッ

頭が、ぼおつと……  
なんか……おかしい……

それがリリーの体内に入ったことで  
本格的に彼女の身体に変化が出始めた。







呼吸ができないほど出続けるカウパー  
飲まなければ呼吸ができないので  
リリイは仕方なく飲んでいく。

そのせいでまだ性の快感を知らない  
未成熟な身体はすっかり欲情していた。



ハナニカ

ギヒッ

ゴブリンはリリイの様子を見て、  
笑い声のような声を上げて  
更に腰の動きを加速させる。



おち●ち●速くなつた…っ！

ふーっ

それに…大きくなつてる…？

な、なんだか  
ビクビク震えて…

ふーっ

な、何…どうなるの…

ほほ！！

ほほ！！

ぬぷっ

ほほ！！

ぬぷっ

ほほ！！

ほほ！！

ぬぷっ

ほほ！！

ほほ！！

ほほ！！





この後、何が起きるのか、  
まったく想像もつかないリリースは  
怯えながらチ○ポに耐える。

くほっ!!  
くほっ!!

くほっ!!

ガガッ

ぬっ!!

ぬっ!!

くほっ!!

くほっ!!

ガガッ

くほっ!!

くほっ!!

ガガッ

そして、ゴブリンのチ○ポが  
これまで以上に深々と  
回し押し込まれた瞬間――



おっ  
おっ  
おっ

んんんっ!?





な、に…これ…

おち●ち●から  
いっばい出てきた…

ぐんぐん

はあ

おしつぷ、じゃない  
白くで…スロドロしてる…

はあ

ぐんぐん

はあ

はあ

喉に引つかかって  
上手く息ができない…

はあ



初めての精液に困惑するが、  
呼吸ができるように喉に絡みつく  
精液をゆつくり飲み込んでいく。

ドクドク

んっ

ドクドク  
ドクドク

んっ

そうしてリリーの身体は  
ゴブリンの体液に  
一段と毒されていくのだった。



ギヒイツ!

っ!?

ゴブリンのチ○ポが回から  
引き抜かれたと思えば、  
リリイは押し倒されてしまう。

そして他のゴブリンたちが  
二本角のゴブリンの声に反応して  
リリイに群がる。

すると彼女が動けなげようた  
手足を掴むのだった。



な、何っ!?

うわっ

おうちに帰してよお…

リリィの訴えに応じることなく  
ゴブリンたちはリリィを押さえる。



身動きのできななぶりりりんを  
二本角のゴブリンは手を伸ばさず。

ん！

そして彼女の服を掴んだ…

ギギイ…

ニヤニヤ





きゃあー!



お洋服が…  
ど、どうしてこんなことするの…

うらうらっ  
お気に入りの…  
お洋服だったのに…

まだ幼いリリイは羞恥心が乏しく、  
服を引き裂かれたことに  
ショックを受ける。

これから何をされるか…  
彼女はまったくわからなかった。



ど、どうして…  
おち●ち●をぱんつに  
こす  
擦りつけてるの…?!

それになんだか…  
さつきよりおち●ち●  
大きくなってる…

ずりずり

すすす

うっうっ  
他のゴブリンも…  
もしかして…わたしの裸を見て  
喜んでる…?!

ちちちち  
なんとなく  
ゴブリンたちの視線や表情から  
リリイは自分の裸を見て  
喜んでるのだと察した。





だが、どうして喜んでるのかは  
リリスには理解できない。

あははは

な、何？  
何を…!?

キョトン…

ア  
と

何も理解できなげまま  
三本角のゴブリンのチ○ポが  
マ○コに触れる。





ああああっ!!

しゅんぐんぐんぐん



い、痛い...

んんん

うっ

おち●ち●...  
おしっこの穴に入っで...

そんなところに...  
おち●ち●  
入れないでよお...

んんん...

んんん、  
んんん、  
んんん、

んんん、  
んんん、  
んんん、

んんん、  
んんん、  
んんん、

痛い...痛いよお...

んんん...

ゴブリンのチ●ポは尿道ではなく  
しつかり膣に収まっでいるが  
リリースにはそんなことはわからなから。



ギヤギヤッ!

だ、だめっ  
動かないでえ

くっ  
す

い  
しゃん  
しゃん

い  
しゃん  
しゃん

痛いっ...  
痛いよっ...

あ  
あ  
あ

やめてええええっ!

あ  
あ

い  
しゃん  
しゃん

あ  
あ



声帯が裂けるのではないかと  
思えるほどリリイは声を上げる。

二本角のゴブリンのチ○ポは  
成人男性のものよりも大きい。

自分の指さえも挿入したことのない  
純潔のマ○コには厳しいだろう。

だが、ゴブリンのカウパーが  
膣内に染み込んでいくにつれて、  
リリイの反応は変わってくる。

じゅわん  
じゅわん

ぐわん  
ぐわん

じゅわん  
じゅわん

じゅわん

ぐわん  
ぐわん

ぐわん

ぐわん

















はぁ...はぁ...

おち●ち●速くなつたあ...

おち●ち●速くしないでえ...

ふう  
ゾクゾクう...  
どんどん大きくなつてえ...

お腹の奥もどんどん熱くう...

はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

ぬちゅん  
ぬちゅん

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...

はぁ...はぁ...  
はぁ...はぁ...



ひゃう  
ひゃう

おち●ち●っ  
おち●ち●…中で  
大きくなってる…っ！

ビクビク震えてえ…  
回の中に出された時と同じ…

グググ

ハハハ

はあ

ぬちゅん  
ぬちゅん

ハハハ

はあ

グググ  
グググ

ハハハ

白いの…出そうなのっ？

はあ

ハハハ

グググ  
グググ

おん

グググ

グググ  
グググ

だ、だめえ…  
おしっこの穴に…  
白いの出しちゃだめえ…





はあ

ほほ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

ああ

はあ

はあ

はあ

はあ

おっぱい

はあ

はあ

おっぱい

はあ

ほほ

はあ

はあ

はあ





アッパアッ

アッアッアッアッ



何…これえ…

すごくゾクゾクしてえ…  
頭のなかあ…まつしろ…

ゴレム  
ズム

あ…

あ…

うらっ

おしつこの穴に…  
出されちゃったせい？

お腹の奥…熱いよお

ドゥ  
ツツ

初めて迎えた絶頂に  
リリースは戸惑いながらも  
結合部に視線を向ける。

ドゥ  
ツツ

あ…



あああッ

今度は…おしっここの穴に…  
白いの出されちゃったあ…

ぐすっ  
ぐすっ  
ぐすっ

すごくドロドロしてる…  
うう…おしっこ…  
出せなくなったらどうしよお…

ドゾ…

ドゾ…  
ドゾ…

しゅっ  
しゅっ

知識の乏しからリイは精液に塞がれて  
おしっこが出せないのであるからかと  
不安になる。

はーっ

はーっ

中出しをされたことに対して  
もつと重大な懸念するべきことがあること  
も知らず…



あの…  
もう……終わり……?

おうちに…  
帰らせてくれる……?

ううう

お願い…おうちに帰して…

…ギイ…グギイ…





二本角のゴブリンは  
他のゴブリンに向けて  
何か言葉を発した。

するとその言葉に従うように、  
リリイの手足を拘束していた  
ゴブリンたちの手が緩んだ。

リリイはその様子に家に帰れると  
歓喜したが、すぐに絶望に叩き落される。



ギャギャギャッ!

!?

シクシク

ゴブリンたちは勃起した自分のチ○ポを  
リライの回や手などに押しつける。

マ○コにも二本角のゴブリンが  
チ○ポを引き抜くとすぐに  
他のゴブリンがチ○ポを挿入する。





二本角のゴブリンは  
他のゴブリンたちに  
リリイを犯す許可を出したのだ。

二本角のゴブリンは、  
このゴブリンたちの中で  
上位の存在であり、  
最初の味見をしたにすぎない。

ゴブリンの群れは  
基本的に雌は共有、全員で使う。

ぐすっ

やだ…やだあ！  
もうこれ以上は…っ

そして雌の意思などは関係なく  
自分たちが満足するまで  
ゴブリンは犯し続けるのだ。

ギョギョッ!!





三時間後。

この続きは、本編でお楽しみください！！

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん